

## 東日本大震災から11年を迎えた日（黙禱を捧げる日）

3月11日（金曜日）

今日は3月11日です。今から11年前の平成23年、西暦で言えば2011年。その年に、東北地方を中心とした大きな地震がありました。

1～4年生は、まだ生まれていませんでしたが、5・6年生のみなさんは、この日にはすでに生まれていたもので、この地震のことが記憶にある人もいるかもしれません。

そこで、今日は改めて、大切な命を奪われてしまった人たちを想い、今、生きている人間として、「自分の命を大切にすること、助け合って生きていくこと」「他人を大切にすること」について考えてみましょう。

今から1分間の黙禱をします。黙禱というのは、黙って静かにして、亡くなった人に対して自分の気持ちを伝えるために祈るということです。座っている人は、座ったままでかまいません。この地震で命を奪われてしまった人たちのことを想い、これから自分や他人の命を大切に生きていくことを心に誓いながら、黙って、静かに、少し下を向いてください。目を閉じてもいいです。「黙禱」と言われてから、「やめ」と言われるまで続けてください。

それでは、今から1分間 黙禱を始めます。

「黙禱」・・・「やめ」 ありがとうございます。